

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場会社名 中央化学株式会社

上場取引所 大

コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宇川 進

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 森本 和宣

TEL 048-540-2624

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	46,771	△16.6	1,700	△43.6	1,147	△49.2	1,373	—
21年12月期第3四半期	56,095	△11.8	3,013	—	2,256	—	△199	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	68.17	—
21年12月期第3四半期	△11.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	49,072	11,743	23.9	582.84
21年12月期	52,958	10,470	19.8	519.65

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 11,743百万円 21年12月期 10,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,800	△12.9	2,900	△29.2	2,200	△27.1	1,700	—	84.37

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

新規 一社（社名 ）、除外 1社（社名 重慶中央化学有限公司）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 21,040,000株 21年12月期 21,040,000株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 890,902株 21年12月期 890,832株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 20,149,126株 21年12月期3Q 17,649,168株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急速な円高の進行や株式市場の低迷などによって、景気不安や雇用環境の悪化懸念が強まり個人消費も低迷、景気先行きの不透明感が一層強まる状況で推移いたしました。このような状況の中、当社グループにおける国内では、全国6ヵ所で「2010中央化学商談会“JUMP UP 10”『価値創造』」を開催するなど、安心安全はもとより、お客様にとっての新しい価値創造に繋がる提案型営業の強化に努める一方、昨年を引き続き、製品の軽量化による原材料費削減や、在庫削減・横持輸送の削減などによる物流費削減等の経費削減を推進してまいりました。しかしながら、消費者の節約志向が食料品関連にも波及している影響等から当第3四半期累計期間における単体業績は、売上高43,234百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益1,325百万円（前年同期比40.9%減）、経常利益943百万円（前年同期比44.1%減）、四半期純利益1,103百万円（前年同期は607百万円の損失）となりました。

アジア経済について、特に中国は、景気拡大テンポがやや緩やかになっているものの、引き続きGDPは高い成長をみせ個人消費は順調に推移しております。このような状況の中、本年5月から同国で開催されておりました上海国際博覧会において、安全で安心のできる容器供給メーカーとして、中国全国にあるワンウェイ食品容器メーカーの中から唯一、上海中央化学有限公司が指名を受けるなど、当社グループの安全衛生性が支持され、この結果、中国子会社の業績は、今年の営業赤字から営業黒字へと転換しております。

なお、従来連結子会社でありました米国子会社のC&M FINE PACK, INC. は平成21年11月に同社株式の全株譲渡により、また同じく連結子会社でありました中国子会社の重慶中央化学有限公司は平成22年9月清算終了により、いずれも連結対象外になっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高が46,771百万円（前年同期比16.6%減）となり、営業利益では1,700百万円（前年同期比43.6%減）、経常利益では為替差益幅の減少により1,147百万円（前年同期比49.2%減）、四半期純利益1,373百万円（前年同期は199百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、現金及び預金の減少1,782百万円や受取手形及び売掛金の減少1,078百万円等により、前連結会計年度末と比べ3,886百万円減少し49,072百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金の減少1,870百万円や未払金の減少839百万円等により、前連結会計年度末に比べ5,160百万円減少し37,328百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益1,373百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,273百万円増加し11,743百万円となり、自己資本比率は23.9%となりました。

これにより1株当たり純資産額は582円84銭となり、前連結会計年度末に比べ63円19銭増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は5,639百万円（前年同四半期末残高2,531百万円）であり、前連結会計年度末に比べ1,782百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,060百万円（前年同四半期末は5,401百万円の増加）となりました。これは売上債権の減少1,196百万円や減価償却費1,937百万円があった一方、仕入債務の減少1,624百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、1,104百万円（前年同四半期末は1,302百万円の減少）となりました。これは、固定資産の取得1,209百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1,480百万円（前年同四半期末は3,813百万円の減少）となりました。これは、短期借入金の減少590百万円やリース債務の減少705百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内での食料品需要の低迷により、食品包装容器の販売環境が厳しい状況にあります。 「価値創造」をテーマとして、大阪・札幌・名古屋・仙台・東京・福岡の各地で開催致しました地域商談会での販売促進活動等を最大限に活かし、通期での連結売上高658億円、営業利益29億円、経常利益22億円、当期純利益17億円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

平成22年9月27日付けで、当社の連結子会社であった重慶中央化学有限公司（中国）の清算が終了したため、当第3四半期連結会計期間より連結子会社の数が減少しております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部を除いて実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「雑収入」と「その他」として掲記されていたものは、「その他」に統一して表示しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「雑収入」は112,256千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,639,906	7,422,286
受取手形及び売掛金	10,882,612	11,961,329
商品及び製品	5,926,833	6,051,188
仕掛品	666,369	693,998
原材料及び貯蔵品	1,326,405	1,148,485
繰延税金資産	166,265	276,532
その他	1,517,975	1,607,944
貸倒引当金	△55,799	△193,188
流動資産合計	26,070,569	28,968,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,848,725	7,088,088
機械装置及び運搬具(純額)	3,731,199	3,917,987
土地	4,913,520	4,912,851
リース資産(純額)	2,327,607	2,905,911
建設仮勘定	188,431	144,613
その他(純額)	1,044,363	1,069,861
有形固定資産合計	19,053,847	20,039,313
無形固定資産		
リース資産	67,657	45,310
その他	372,216	405,044
無形固定資産合計	439,874	450,354
投資その他の資産		
投資有価証券	338,520	307,230
長期貸付金	186,317	229,176
破産更生債権等	10,004,719	10,163,596
繰延税金資産	1,868,063	1,762,630
その他	105,923	336,990
貸倒引当金	△8,995,822	△9,299,083
投資その他の資産合計	3,507,721	3,500,540
固定資産合計	23,001,444	23,990,208
資産合計	49,072,013	52,958,785

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,375,130	13,245,522
短期借入金	17,732,826	18,293,406
リース債務	739,838	967,398
未払金	1,839,556	2,678,769
未払法人税等	40,072	196,264
未払消費税等	21,154	489,039
繰延税金負債	4,253	4,490
賞与引当金	233,927	—
海外事業等再編引当金	491,481	657,885
その他	754,114	1,069,966
流動負債合計	33,232,356	37,602,743
固定負債		
長期借入金	1,310,980	1,600,780
リース債務	1,796,210	2,115,672
繰延税金負債	9,395	9,615
退職給付引当金	508,337	435,100
役員退職慰労引当金	32,630	88,050
債務保証損失引当金	276,233	440,000
その他	162,163	196,360
固定負債合計	4,095,950	4,885,578
負債合計	37,328,307	42,488,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212,750	6,212,750
資本剰余金	5,787,143	8,259,959
利益剰余金	1,497,402	△2,349,018
自己株式	△1,169,214	△1,169,190
株主資本合計	12,328,081	10,954,499
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,566	△5,615
繰延ヘッジ損益	△8	△3,108
為替換算調整勘定	△572,801	△475,311
評価・換算差額等合計	△584,375	△484,035
純資産合計	11,743,705	10,470,464
負債純資産合計	49,072,013	52,958,785

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	56,095,895	46,771,182
売上原価	41,905,034	36,245,711
売上総利益	14,190,860	10,525,470
販売費及び一般管理費	11,177,663	8,824,552
営業利益	3,013,196	1,700,917
営業外収益		
受取利息	7,020	5,258
受取配当金	8,972	7,444
その他	150,447	209,689
営業外収益合計	166,440	222,392
営業外費用		
支払利息	453,669	344,028
手形売却損	70,365	36,968
売上割引	76,449	70,557
為替差損	112,201	243,177
その他	210,027	81,039
営業外費用合計	922,713	775,770
経常利益	2,256,923	1,147,539
特別利益		
前期損益修正益	57,736	50,164
固定資産売却益	6,090	121,692
投資有価証券売却益	321,450	—
貸倒引当金戻入額	11,400	123,299
役員退職慰労引当金戻入額	259,940	—
海外事業等再編引当金戻入額	—	58,381
為替換算調整勘定取崩益	—	54,820
その他	467	1,698
特別利益合計	657,084	410,056
特別損失		
前期損益修正損	5,841	—
固定資産除売却損	16,509	43,617
減損損失	26,485	—
投資有価証券評価損	2,980	222
投資有価証券売却損	300	—
関係会社出資金評価損	22,000	—
海外事業等再編費用	767,096	—
早期割増退職金	4,924	—
貸倒引当金繰入額	850,000	—
債務保証損失引当金繰入額	440,000	50,000
債務保証損失	221,250	—
リース会計基準の適用に伴う影響額	101,307	—
たな卸資産評価損	210,324	—
その他	0	18,961
特別損失合計	2,669,021	112,801

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
税金等調整前四半期純利益	244,986	1,444,795
法人税、住民税及び事業税	258,008	68,918
法人税等調整額	150,163	2,271
法人税等合計	408,172	71,189
損失負担契約に基づく当社及び連結子会社以外の者 への振替額	13,544	—
少数株主利益	49,920	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△199,561	1,373,605

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	18,880,638	16,502,933
売上原価	13,807,013	12,857,392
売上総利益	5,073,624	3,645,541
販売費及び一般管理費	3,584,659	3,067,509
営業利益	1,488,964	578,031
営業外収益		
受取利息	230	1,713
受取配当金	65	65
その他	37,654	48,649
営業外収益合計	37,951	50,428
営業外費用		
支払利息	130,913	108,747
手形売却損	21,423	11,735
売上割引	24,654	22,996
為替差損	432,546	146,816
その他	152,937	6,615
営業外費用合計	762,475	296,911
経常利益	764,440	331,548
特別利益		
固定資産売却益	6,090	△3,419
貸倒引当金戻入額	100	△13,885
海外事業等再編引当金戻入額	—	58,381
為替換算調整勘定取崩益	—	54,820
その他	△5	△72
特別利益合計	6,184	95,823
特別損失		
前期損益修正損	△342	—
固定資産除売却損	4,952	12,785
投資有価証券評価損	—	122
海外事業等再編費用	△52,606	—
債務保証損失引当金繰入額	△200,000	—
債務保証損失	221,250	—
その他	0	—
特別損失合計	△26,746	12,907
税金等調整前四半期純利益	797,371	414,464
法人税、住民税及び事業税	120,233	26,240
法人税等調整額	4,849	1,003
法人税等合計	125,083	27,244
損失負担契約に基づく当社及び連結子会社以外の者への振替額	143	—
少数株主利益	25,223	—
四半期純利益	647,208	387,219

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	244,986	1,444,795
減価償却費	2,476,192	1,937,532
減損損失	26,485	—
海外事業等再編費用	767,096	—
海外事業等再編引当金戻入額	—	△58,381
為替換算調整勘定取崩益	—	△54,820
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	661,250	50,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,072,453	△400,895
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	92,493	73,236
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△267,850	△55,420
受取利息及び受取配当金	△15,993	△12,702
支払利息	453,669	344,028
為替差損益 (△は益)	35,571	6,856
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△318,169	222
関係会社出資金評価損	22,000	—
有形固定資産除却損	16,509	43,617
有形固定資産売却損益 (△は益)	△6,090	△121,692
役員退職慰労金	17,860	65,790
売上債権の増減額 (△は増加)	4,441,380	1,196,271
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,611,561	△118,967
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,807,409	△1,624,209
未払消費税等の増減額 (△は減少)	293,718	△463,498
その他	471,114	△424,686
小計	6,288,829	1,827,074
利息及び配当金の受取額	18,387	13,049
利息の支払額	△458,187	△354,580
債務保証履行による支払額	△221,250	△213,766
役員退職慰労金の支払額	△17,860	△65,790
法人税等の支払額	△208,444	△145,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,401,475	1,060,377

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,397,383	△1,209,236
固定資産の売却による収入	106,354	126,121
投資有価証券の取得による支出	△35,586	△37,463
投資有価証券の売却による収入	397,550	—
子会社株式の取得による支出	△456,462	—
貸付けによる支出	△6,725	—
貸付金の回収による収入	17,196	17,371
その他	72,128	△1,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,302,929	△1,104,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,066,101	△590,039
長期借入れによる収入	—	84,000
長期借入金の返済による支出	△641,010	△269,000
リース債務の返済による支出	△1,105,955	△705,824
自己株式の取得による支出	—	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,813,066	△1,480,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,107	△256,916
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	278,371	△1,782,379
現金及び現金同等物の期首残高	2,252,843	7,422,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,531,214	5,639,906

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

「合成樹脂簡易食品容器及び関連商・製品製造販売事業」のみの単一事業のため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

「合成樹脂簡易食品容器及び関連商・製品製造販売事業」のみの単一事業のため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)					
	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	45,130,678	7,742,015	3,223,201	56,095,895	—	56,095,895
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	149,196	660	1,157,081	1,306,938	(1,306,938)	—
計	45,279,875	7,742,675	4,380,282	57,402,833	(1,306,938)	56,095,895
営業利益又は営業損失(△)	2,833,301	490,403	△13,545	3,310,159	(296,962)	3,013,196

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ

(2) アジア・・・中国

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載の通り当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 企業会計基準委員会 平成18年7月5日公表分)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第3四半期連結累計期間の営業損益は日本で営業利益が60,709千円増加し、アジアで営業損失が12,718千円増加しております。

(リース取引に関する基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載の通り当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第3四半期連結累計期間の営業利益は日本で89,698千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)					
	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	43,429,731	—	3,341,450	46,771,182	—	46,771,182
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	91,077	—	842,613	933,690	(933,690)	—
計	43,520,808	—	4,184,064	47,704,872	(933,690)	46,771,182
営業利益又は営業損失(△)	1,746,413	△11,901	277,311	2,011,823	(310,906)	1,700,917

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ

(2) アジア・・・中国

3. 従来、北米セグメントに含まれておりましたC&M Fine Pack, Inc. は、平成21年11月における同社株式の全株譲渡により、連結対象外になっております。

また、アジアセグメントに含まれていた重慶中央化学有限公司は平成22年9月に清算が終了したことにより、連結対象外となっております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)		
	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	7,768,601	4,138,404	11,907,005
II 連結売上高(千円)			56,095,895
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.8	7.4	21.2

(注) 1. 海外売上高は、連結財務諸表提出会社の輸出高及び本国以外の国に所在する連結子会社の本国以外の国又は地域における売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上を除く)であります。

2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ

(2) その他の地域・・・中国・ヨーロッパ

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)		
	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	4,501,131	147,063	4,648,194
II 連結売上高(千円)			46,771,182
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.62	0.32	9.94

(注) 1. 海外売上高は、連結財務諸表提出会社の輸出高及び本国以外の国に所在する連結子会社の本国以外の国又は地域における売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上を除く)であります。

2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・中国

(2) その他の地域・・・アメリカ・ヨーロッパ

4. 従来、北米セグメントに含まれておりましたC&M Fine Pack, Inc.は、平成21年11月における同社株式の全株譲渡により、連結対象外となっております。その結果、北米地域の売上高が減少したことで、「その他の地域」に含めております。なお、当第3四半期連結累計期間の「その他の地域」に含まれる北米の海外売上高は32,715千円であります。

5. 従来、アジア売上は「その他の地域」に含めて表示しておりましたが、アジアの連結売上に対する売上高比率が重要性を増したため、「アジア」として区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「その他の地域」に含まれるアジアの海外売上高は4,011,361千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

当社は、平成22年2月19日開催の取締役会における資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関する決議に基づき、資本剰余金から利益剰余金へ2,472,815千円振替え、欠損の填補を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間末において、資本剰余金が2,472,815千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。